ゲートウェイ接続

• ゲートウェイ接続 （1 ページ）

ゲートウェイ接続

Crosswork Data Gateway が Crosswork Cloud Traffic Analysis または Crosswork Cloud Trust Insights 用にインストールされると、Crosswork Data Gateway と Crosswork Cloud の間の接続をモニターするポリシーが自動的に作成されます。Crosswork Data Gateway が Crosswork Cloud への接続を失った場合（レポート間隔内で Crosswork Cloud との通信に失敗した場合）、アラームが生成され、[アラーム（Alarms）] ページ（ または > [モニター（Monitor）] > [アラーム（Alarms）]）に表示されます。

ゲートウェイ接続の詳細を表示したり、アラーム重大度レベル、モニター対象ゲートウェイのリスト、または通知エンドポイントを更新したりするには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 または > [設定（Configure）] > [ポリシー（Policies）] の順に選択します。

[ゲートウェイ接続（Gateway Connectivity）] で、アクティブなアラームの数、モニター対象のゲートウェイの数、および最新のアクティブなアラームを持つゲートウェイを表示できます。

ステップ 2 [ゲートウェイ接続（Gateway Connectivity）] で、[詳細（Details）] をクリックします。

ステップ 3 デフォルトでは、[概要（Overview）] タブに現在のゲートウェイ接続ポリシーの設定が表示されます。

ステップ 4 アラームの詳細を表示するには、**[アラーム（Alarms）]** タブをクリックします。このページから、[ゲートウェイ接続の喪失（Lost Gateway Connection）] アラームをクリックして特定のアラームの詳細を確認したり、[アクティブ（Active）]、[確認（Acknowledge）]、または [履歴（History）] のタブ間を移動したりできます。

ステップ 5 アラームの重大度やモニター対象ゲートウェイのリストを変更したり、エンドポイント通知の設定をしたりするには、**[編集（Edit）]** をクリックします。

a) **[トリガー（Triggers）] > [ゲートウェイルール（Gateway Rules）] > [重大度（Severity）]** ドロップダウンメニューで、重大度を選択します。

ゲートウェイ接続

b) **[データ（Data）]** で、**[変更（Modify）]** をクリックして、モニターまたは無視するゲートウェイを更新します。
c) **[アクション（Actions）]** で、既存のエンドポイント通知を変更、もしくはさらに追加できます。設定できるエンドポイント通知のタイプの詳細については、通知エンドポイントについて を参照してください。
d) [保存（Save）] をクリックします。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。